

キリスト教アーティスト
vol. 1

公益財団法人早稲田奉仕園所蔵
ふとら園の比喩 (1981年)



- 渡辺禎雄版画展 -

2025. 11. 13 [木] - 11. 15 [土] ウェスレーセンター101

〒107-0062 東京都港区南青山6-10-11 入場料無料

- ・ 11月13日 (木) 11:00~18:00 (最終入場 17:30)
- ・ 11月14日 (金) 11:00~19:00 (最終入場 18:30) 【吉松純氏による特別講演】 17:00~18:30
- ・ 11月15日 (土) 10:00~14:30 (最終入場 14:00) 【吉松純氏による特別講演】 11:00~12:30



マルタとマリア (1984年)



十字架 (1992年)



聖晩餐 (1990年)



5人の使徒 (1958年)



魚を得た弟子 (1984年)

【公益財団法人早稲田奉仕園所蔵】

「祈りの心」が描く聖書の世界

【吉松純氏 特別講演】

狭い門から世界へ
—キリスト教アーティスト
渡辺禎雄の信仰と聖書観—

本版画展の展示作品を、①民芸運動や仏教といった日本的なものの影響がみられる作品、②西洋キリスト教美術の影響がみられる作品、③聖書に親しんだ渡辺氏の信仰者としての特性が出ている作品という3つの観点から厳選し、解説します。渡辺氏は、聖書を題材とした日本では稀有な芸術家です。ほとんどの日本人にとって馴染みのない聖書の物語を伝えることを使命とし、その生涯を捧げました。一言葉ではなく、型紙版画によって。この渡辺氏の思いに光を当てたいと思います。

—講演日時—

- ・11月14日(金) 17:00～18:30
- ・11月15日(土) 11:00～12:30



吉松 純 教授

ニューヨーク州立ファッション工科大学、ブラット工科大学、ドリュー大学神学大学院、イェール大学神学大学院、コロンビア大学ティーチャーズ・カレッジ(教育大学院)卒。教育学博士。専門：美学・美術教育、アメリカ・キリスト教史。合同メソジスト教会牧師としてメトロポリタン美術館ツアー、フィラデルフィア美術館ツアーなどを企画。金城学院大学宗教主事、教授。著作：「キリスト教美術が10倍おもしろくなる」『教師の友』(季刊誌)、「アメリカの教会の神学といま」『福音と世界』(月刊誌)、「キリスト教美術探訪」等

渡辺禎雄(わたなべ さだお)

1913年7月7日 - 1996年1月8日

版画家。東京都出身。

1941年、芹沢銈介氏に師事、型染版画に取り組む。1947年、「ルツ物語」により第一回日本民芸館賞受賞。1958年、ニューヨーク聖ヤコブ教会主催の「現代日本版画展」に「青銅の蛇」を出展、一等賞受賞。その他国画賞等々多数受賞。1993年、日本キリスト教文化協会より文化功労賞受賞。

【アクセス】

・東京メトロ千代田線、半蔵門線、銀座線「表参道駅」B1出口より徒歩10分
・渋谷駅より01系統の都バスに乗り「青山学院中等部前」下車徒歩3分

【お問い合わせ先】

公益財団法人ウェスレー財団
港区南青山6-10-11
ウェスレーセンター301
program@wesley.or.jp



公益財団法人 ウェスレー財団
Wesley Zaidan